

# 日中青年代表交流 2024

～静岡県と浙江省の友好・発展の架け橋に～



主催・実施  
静岡県教育委員会／日中青年代表交流実行委員会



## 主催者挨拶

### 「交流の継続、そしてともに成長を」

静岡県教育委員会 教育長 池上 重弘



日中青年代表交流は、平成21年に静岡県教育委員会と中国浙江省青年連合会との間で締結した「青年友好交流に関する協定書」に基づき、平成23年より毎年実施しております。

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の交流を最後に対面での交流が実施できなくなり、その間、過去参加者や中国の青年等御協力を得ながら、オンラインでの交流を継続してきました。今年度、5年ぶりに対面での交流が再開できたことは大変喜ばしいことであり、御尽力いただいた方々に感謝いたします。

本交流は、経済、産業、教育、文化等さまざまな分野で活躍する両県省の青年同士が、互いの国を訪問し、企業や学校視察、ペアワーク等の時間を共にし、それぞれの国を肌で感じるにより、価値観の違いやものの考え方、互いの国の魅力や課題、現状を認識することで、自分の視野を広げることのできる大変意義のあるものと考えております。

私も、静岡県交流では、中国や静岡の青年たちと多くの対話をし、彼らの熱量を感じることができました。今後も日中友好の架け橋となれるよう、本事業を通じて互いに成長していきましょう。

結びに、本交流の実施にあたり、御尽力いただきました両国の実行委員会の皆様をはじめ、青年たちの参加に御理解をいただきました企業、団体、学校関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

## 実行委員会会長挨拶

### 日中青年友好交流の輪再び

会長 外山 敬三（静岡県日中友好協議会参与）



平成23年度から毎年実施してきました日中青年代表交流事業は、新型コロナウイルスの感染の広がりにより中断を余儀なくされていましたが、両県・省の関係者の御尽力により、5年ぶりに再開されることになりました。

今回の浙江省訪問は従来よりも短い5泊6日の日程ではありましたが、連日40度の猛暑、夕方にはスコールのような雨が降る天候、しかも帰国日には台風の影響で出発が5時間程遅れるというハプニングもありましたが、浙江省側の配慮や行き届いた手配により、視察・交流も順調に進み、全員元気に帰国することができました。

今年度は、アリババグループの物流会社の視察から研修がスタートし、その後、アリババ本社の視察、社員食堂での昼食など中国における物流大手の実情をじっくり視察することができました。その後も、小中高一貫校での視察や教職員との意見交換、日系企業の視察、浙江省湖州市の青年代表との交流など、内容の濃い研修を行うことができました。参加した青年たちは、中国の方々の温かさや成長意欲に触れ、また経済発展の勢いを目の当たりにし、大いに刺激を受けるとともに、お互いの文化や日常を理解し、国を超えた深い友情を育んだことと思います。

最後に、交流が再開したことにより、両県省の青年同士はもちろんのこと、県内の異業種の青年同士、更には、年度を超えた参加者や通訳等、交流の輪がより一層広がることを心より期待しております。

## 参加者代表挨拶

### かけがえのない宝物

令和6年度代表 古杉 香



5年ぶりの交流再開という貴重な機会に「日中青年代表交流」に参加させていただきありがとうございます。

今回の研修において、中国の文化、教育、産業など様々な分野について自分の目で捉えることができました。このことで、より広い視点で物事を受け入れ、自分の見方や考え方が広まりました。さらに、教員として国際感覚を身につけたことで、これからのよりよい教育活動に活かしていくことができます。

何より、この交流で出会った方々からの大きなパワーをいただいたことは、わたしにとってかけがえのない宝物です。浙江省での交流や静岡県交流、各セミナーを通して、日本と中国の魅力ある素敵な仲間との絆に心から感謝しております。これからも、人との繋がりを大切にしていきたいと思っております。

## 浙江省青年連合会挨拶

### 青年は世界の未来 青年交流は日中友好の希望

浙江省青年連合会 主席 周蘇紅



尊敬する外山団長、日本・静岡県青年代表団の皆様、尊敬する御来賓の皆様、こんばんは。

私は、浙江省青年連合会の 1400 万人の浙江省青年の代表として、静岡県青年の御来訪に対して心から歓迎の意を込めて、挨拶を述べさせていただきます。

私はかつてバレーボール中国代表であったため、日本には何度も行ったことがあります。引退後も青年連合会として日本に行きましたが、団長として訪日した 2017 年浙江省・静岡友好提携 35 周年は大変印象的でした。三ヶ日青年の家での活動やバレーボール交流など大変思い出深いです。また、どこを訪れてもきれいな町ばかりで、深い印象に残っています。

パリ五輪が終わったばかりですが、金メダリストの数はアメリカに続き中国、そして日本でした。お互い良い成績を残せたと思っています。日本はバレーボールでもよい成績を残しましたね。

こうして交流を続けることで友好の絆はより深まっていくはずで、私は日本に行く度に、日本に良い印象を持ちます。明日以降も浙江省での交流の旅をたくさん満喫してください。訪中の期間、何かありましたらいつでも連絡をしてください。力になります。

最後に、日本・静岡県青年代表団の方々が、浙江省滞在中、楽しく過ごされ、また、健康であることを祈念して、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

[ 令和 6 年 8 月 12 日開催 浙江省交流 歓迎夕食会にて ]

浙江省青年連合会 副主席 包志炎



地に足を踏み入れた瞬間から、静岡県の優しさと情熱を深く感じました。素晴らしい行程を組んでいただき、昨日今日と充実した交流ができています。感謝いたします。

本日はお忙しい中、このような場を設けていただき、浙江省青年連合会および 1400 万人の浙江省青年たちを代表して御礼を申し上げます。中国と日本は隣国です。静岡県と浙江省は文化・歴史ともに特別な関係でもあります。コロナ禍でもオンラインでの交流は継続しました。コロナ禍が収束し、青年同士の交流が正常化しつつある姿は大変喜ばしく感じています。昨年 11 月、今年 8 月の 2 回に渡り、外山敬三会長をはじめとする静岡県青年団が浙江省へ来訪しました。今回、再度静岡の地で再会できたことを大変嬉しく思います。青年は世界の未来です。青年同士の交流は中日友好の希望です。両国の青少年世代の相互理解の促進は重要です。静岡県のみならず、ぜひ浙江省へ投資、起業、観光などどのような形で良いので来訪ください。

最後に、静岡県発展と繁栄、みなさまの健康と御多幸を祈念し、挨拶とさせていただきます。

[ 令和 6 年 12 月 2 日開催 静岡県交流 歓迎レセプションにて ]

## — CONTENTS —

I 令和 6 年度事業概要	3	IV 静岡県交流	13
II セミナー	5	V 広がる交流の輪	17
III 浙江省交流	7	VI 日中交流架け橋プラン	19

# I 令和6年度事業概要

## 1 目 的

静岡県内の経済、産業、教育、行政など各分野の青年代表が、中国浙江省の青年との交流を通して、相互理解と信頼関係を深め、人脈形成や情報交換等を行い、参加後、継続的に日中交流に関わることにより、発展的な協力関係を築く。

## 2 概 要

(1) 参加条件 中国との交流に関心があり、日中の友好交流の促進や相互発展への取組に参加する意志のある県内の20代から40代までの青年。

(2) 参加者数 静岡県青年 15人  
 浙江省青年 浙江省交流 16人 / 静岡県交流 6人 (幹部含む先遣団)

[内訳] 性別 (人)

静岡県青年		浙江省青年			
		浙江省交流		静岡県交流	
男	女	男	女	男	女
10	5	14	2	3	3

所属先 (人)

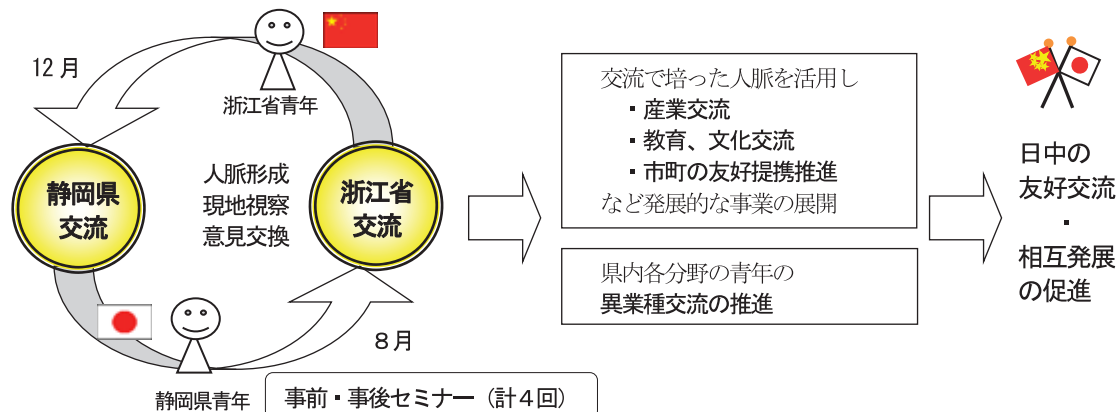
	静岡県青年		浙江省青年	
	静岡県交流	浙江省交流	静岡県交流	浙江省交流
企業	5	10	-	-
団体	1	0	-	-
教育	7	1	2	-
行政	1	1	4	-
その他	1	4	-	-

## (3) 内容・日程

交流・セミナー	開催月日	会 場	内 容
第1回セミナー	6/22 (土)	県 庁	開講式、オリエンテーション、中国事情講座 中国語講座 等
第2回セミナー	7/28 (日)	県 庁	中国事情講座、浙江省交流ガイダンス 等
浙江省交流	8/11 (日) ~16 (金) 〔5泊6日〕	中 国 浙江省 上海市	【静岡県青年 ⇒ 浙江省、上海市】 歓迎夕食会、現地学校視察、ペアワーク 現地・日系企業等視察、杭州・上海市内視察 等
第3回セミナー	9/22 (土)	県 庁	浙江省交流報告会、グループワーク 等
静岡県交流	12/1 (日) ~4 (水)	県 内	【浙江省青年 ⇒ 静岡県】 歓迎レセプション、青年意見交換会、学校視察、企業等視察、静岡県内視察 等
第4回セミナー	2/1 (土)	グランディ エールブケ トカイ	交流報告会、閉講式

(4) 参加費 23万円 (ただし、セミナー・交流参加に伴う集合場所までの交通費、食費、パスポート取得料、海外旅行保険料他、個人的経費は含まない)

(5) その他 本交流に参加した公立学校教員は、中堅教諭等資質向上研修の「社会体験研修」を実施したものとみなされる。





### 3 参加者および事業関係者

#### (1) 静岡県参加青年

番号	氏名	所属先（申込時）	番号	氏名	所属先（申込時）
1	高林 洋之	学校法人沼津精華学園 沼津中央高等学校	9	水野 彰紀	静岡県立中央図書館
2	赤堀 真也	静岡県信用保証協会	10	村宮 汐莉	静岡大学
3	田代 晃司	菊川市立加茂小学校	11	古杉 香	藤枝市立朝比奈第一小学校
4	徳永 凌	鈴与株式会社	12	牧野 志穂	静岡県立静岡高等学校
5	児玉 文美	富士市立鷹岡中学校	13	細川 卓馬	株式会社天野回漕店
6	松浦 恵太	静岡県立富岳館高等学校	14	小川 詩恩	静岡県立静岡中央高等学校
7	高田 愛	清和海運株式会社	15	稲熊 健人	株式会社サンワネッツ
8	生駒 泰斗	清和海運株式会社			

#### (2) 実行委員会

役職	氏名	所属等（事業実施時）
会長（静岡県青年交流代表団団長）	外山 敬三	静岡県日中友好協議会 参与
副会長（静岡県青年交流代表団副団長）	藤ヶ谷 昌則	静岡県教育委員会教育部参事兼社会教育課長
委員	赤堀 義武	一般社団法人静岡青年会議所 副理事長
	伊藤 清久	静岡県立富岳館高等学校
	太田 未佳	掛川市立北中学校
	神谷 摩耶	鈴与株式会社
	小関 克也	静岡県地域外交局地域外交課長
	齋藤 和法	静岡地方税滞納整理機構
	鈴木 清秀	富士宮商工会議所 専務理事
	鈴木 久美子	静岡県立三島南高等学校 校長
監事	中村 かおり	一般財団法人静岡県教職員互助組合高校支部
	望月 菜摘	静岡県経営管理部財務局税務課 主任

#### (3) 浙江省参加青年（浙江省交流）

番号	氏名	所属等	番号	氏名	所属等
1	蒋德奎	南山雅居物业人员	9	陈 普	小博士幼儿园法人代表
2	王 凯	信用社工作人员	10	方 毅	长兴枫叶电子厂总经理
3	唐圣阳	农业主体承包人	11	邢佳杰	农家乐老板
4	林 涛	咖啡店主理人	12	邱世勇	农业主体承包人
5	白永坤	网红主播	13	余家乐	警察
6	汪 阳	农家乐老板	14	朱 军	会计
7	徐江浩	个体经营户	15	杨 军	景区营销人员
8	唐 甜	超威集团工作人员	16	潘 昊	烘焙师

#### 浙江省参加青年（静岡県交流）

	氏名	所属等
1	包志炎	浙江省青年联合会副主席
2	宋頤源	浙江省青年联合会副秘書長
3	陈滢冰	温州市青年联合会副主席
4	彭成彦	嘉兴市青年联合会主席
5	金诗南	浙江工业大学老师
6	卫甜甜	浙江省团校副校長

#### (4) 中国浙江省青年連合会役員

役職	氏名
主席	周蘇紅
副主席	包志炎
秘書長	劉俏蕾
副秘書長	凌 霄
	李曉峰
	傅 珺
	宋頤源

## II セミナー

### 第1回 セミナー 開講式

- 1 開講式  
・日中青年代表交流実行委員会会長挨拶 外山 敬三 会長  
・実行委員の紹介とメッセージ
- 2 オリエンテーション  
事業説明／過去参加者による体験談
- 3 グループワーク1 仲間づくり  
アイスブレイキング／自己紹介／役割決定
- 4 講義「聖一國師がみた中華世界から 時空を超えて」  
講師 高林 久記 氏  
(静岡県日中友好協議会常務理事兼事務局長)
- 5 中国語講座1  
講師 王春華 氏、張海鳳 氏



### 第2回 セミナー

- 1 浙江省交流ガイダンス  
交流日程、準備等の確認／渡航ガイダンス
- 2 講義「中国と日本の生活の違いについて」  
講師 孫江明 氏  
(株式会社 大鉄アドバンス)
- 3 グループワーク2  
上海グループワーキング計画・作成
- 4 中国語講座2  
講師 王春華 氏、加藤 和道 氏、姚維逸 氏、于月亮 氏





## 第3回 セミナー

### 1 浙江省交流報告会

- ・浙江省交流の振り返り（事務局より）
- ・上海グループワーキング報告（グループごと）
- ・グループ別協議（浙江省交流後の意識や行動の変化）

### 2 静岡県交流計画

- ・概要説明
- ・グループ別協議（交流内容検討）



## 第4回 セミナー

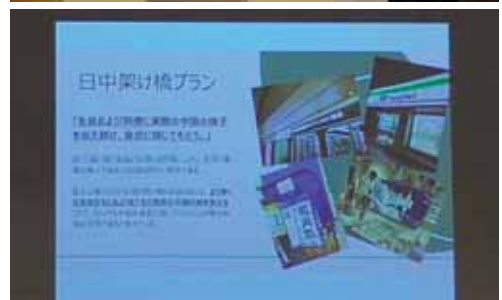
### 閉講式

#### 1 交流報告会

#### 2 直接話を聞いてみよう（参加者への質問）

#### 3 閉講式

- ・日中青年代表交流実行委員会会長挨拶 外山 敬三 会長
- ・実行委員からのメッセージ



### III 浙江省交流

新たな友との出会い



## DAY 1

### 1 出発式（富士山静岡空港）

富士山静岡空港内で出発式を行いました。  
参加者代表の気合いのこもった挨拶で本交流が始まりました。



## DAY 2

### 2 菜鳥物流会社・阿里巴巴集団（アリババ集団）／現地企業視察

菜鳥物流会社は、アリババの物流部門子会社として設立。中国では一日約3億個の荷物が配送されており、ビッグデータ等を活用し、いかに素早く確実に顧客へ荷物を受け渡すか、その仕組みや取組について詳しく説明いただきました。



アリババは、1999年の設立以降、商取引のインフラ構築に取り組んでおり、その事業には、小売プラットフォーム、クラウドコンピューティングとビッグデータ、企業間の国内外の貿易プラットフォーム、金融サービス、健康・スポーツ、デジタルエンターテインメントなどがあり、中国を代表する世界的企業です。今回は、主に会社の在り方や社風など企業文化について説明いただきました。



### 目的

静岡県内の各分野の青年代表が、中国浙江省の青年代表や両県省の交流関係者、上海駐在邦人等との交流を通して、相互理解と信頼関係を深め、人脈形成や情報交換等を行うとともに、中国の経済、社会、文化等について理解を深める。



## 日程表

月日		時間	行程	宿泊
DAY 1	8/11 (日)	11:30 13:40 15:10	富士山静岡空港 集合・出発式 富士山静岡空港 出発 (MU2020 便) 上海浦東国際空港 到着	杭州維景國際 大酒店 (杭州市)
DAY 2	8/12 (月)	午前 午後	現地企業研修 / 菜鳥物流会社、阿里巴巴集団 現地学校企業研修 / 绿城育華学校、小派科技、強脳科技 歓迎夕食会 (浙江省青年連合会)	
DAY 3	8/13 (火)	午前 午後	杭州市内観光 / 西湖、中国シルク博物館 新農村地区研修 / 長興県虹星橋鎮鄭家村 (新農村地区見学) 鄭家村青年ステーション交流 湖州市青年とのペアワーク / 大唐貢茶院散策・意見交換 歓迎夕食会 (湖州市青年)	長興県田園民宿 (長興県)
DAY 4	8/14 (水)	午前 午後	現地学校研修 / 嘉興市青少年宮 日系企業研修 / SSK 食品、Nidec 歓迎夕食会 (嘉興市青年連合会)	嘉興市戴夢得開元 名庭大酒店 (嘉興市)
DAY 5	8/15 (木)	終日	上海グループワーキング	上海吉臣維景 大酒店 (上海市)
DAY 6	8/16 (金)	14:00 17:30	上海浦東国際空港 出発 (MU2019 便) ※静岡側台風の影響により出発時刻が5時間遅延した 富士山静岡空港 到着	

### 3 绿城育華学校 / 現地学校視察

杭州市内でも有数の私立小中高一貫学校で、その敷地はとても広く、小中高の各教室棟、中・高生のための寮棟、体育施設、芸術棟、天文広場など充実した環境が整っていました。



### 4 小派科技・強脳科技 / 現地企業視察

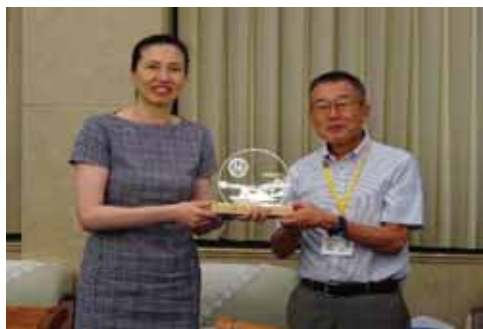
小派科技は、製品の8割を欧米に輸出する世界有数のトップ会社です。バーチャルリアリティ (VR) ハードウェア製品の見学と体験をさせていただきました。



強脳科技では、主に新種ブレイン、ニューロンフィードバック機能、睡眠障害解消の3つの開発に取り組んでいます。より快適で自然な動きを生み出す義足やスマートハンドの開発など、実演を交えて説明していただきました。

## 5 歓迎夕食会

浙江省青年連合会主催の歓迎夕食会に出席しました。周主席からは大変温かい歓迎の言葉をいただきました。5年ぶりの交流再開ということもあり、大変盛り上がりのある楽しい時間を過ごすことができました。人と人とのつながりの大切さを感じる時間となりました。



## DAY 3

## 6 西湖遊覧・中国シルク博物館／杭州市内観光

西湖は杭州市の代表的な観光名所です。1周15Kmの広大な湖の景観は、穏やかで美しく深い歴史を感じました。



シルク生地を使ったうちわ作りに挑戦！

中国シルク博物館では、古代のシルク織物生地や織機、シルクロードの始まりについて学びました。



## 7 長興県虹星橋鎮鄭下村／新農村地区見学

鄭家村は2012年に新農村地区として指定され、村の大半を果樹園が占めています。村のテーマは「甜蜜的夢想」(スイートな村)。8月収穫期のドラゴンフルーツとシャインマスカットの収穫体験をさせていただきました。



鄭家村青年活動ステーションは、村の子どもや青年たちが、村の文化・歴史に触れることができる日本の公民館のような場所です。村では子どもの頃から果樹園に触れ、果樹の育て方を学ぶなど新農村地区として後継者の育成にも村全体で取り組んでいました。





## 8 湖州市青年との交流

4人グループを作り、意見交換や敷地内散策などペアとの交流を楽しみました。それぞれ中国語と英語、ジェスチャーを組み合わせながらコミュニケーションし、交流を深めました。



### 民宿にて夕食会

大唐貢茶院から移動し、ペアと一緒に夕食会を開きました。日本の駄菓子をお土産に、自分のペアに説明を加えながらプレゼントしました。時間の経過とともに親交は深まっていき、青年同士大変盛り上がり、思い出に残る食事会となりました。

DAY 4

### 大唐貢茶院

大唐貢茶院は朝廷の茶の加工を専門とする中国史上初の「王室茶工場」です。



## 9 嘉興市青少年宮／現地学校見学

青少年宮とは、中国の各地に作られた子どもたちの課外活動のための公営の教育施設で、学校では多くを学ぶことのできない科目（音楽・美術・工芸・体育・IT・料理など）を複数開講しています。私営に比べ受講料も安く専門的な指導が受けられるため予約の競争率は高いそうです。中国が教育に熱心であることを強く感じる機会となりました。





## 10 SSK 食品（愛食客）・Nidec／日系企業視察



Nidec は、平湖市に 17 か所の工場を構え、辺り一帯が工業団地化されていました。見学した工場では、Ag 製品（部品）の製造過程を見せていただきました。

平湖市は、日系企業が数多く存在する日系企業集積区です。SSK 食品（愛食客食品有限公司）は中国国内向け商品を製造しており、コンビニエンスストアの店舗数増や大手チェーン店の国内進出に対応した商品開発を行っていました。



## 11 平湖博物館



平湖博物館は、収蔵、研究、解釈、普及利用を一体化させた総合博物館です。館内には複数の展示室が設けられ、平湖の歴史や文化、遺跡や出土物の展示、平湖人民の引き継がれてきた精神など、数多くをマルチメディア手段で表現している近代的な博物館でした。

## 12 嘉興市青年連合会との夕食会

嘉興市青年連合会の方々  
と夕食をともにしました。  
嘉興市青年連合会彭主席  
からは、浙江省および嘉興  
市訪問に対するお礼の言葉  
と、今後も浙江省・嘉興  
市と静岡県との交流を深  
めていきたいとの話があ  
りました。



この日は一日、嘉興市青年連合会の方々大変親切に対応いただき、心温まる時間になりました。

## DAY 5

## 13 上海グループワーキング

3つのグループごとにテーマ、コースを設定して上海市内を散策しました。



**A 班** 田子坊→豫園→田子坊→  
外灘→ナイトクルーズ

**B 班** 豫園→田子坊→南京東路→外灘  
→ナイトクルーズ



**C 班** 朱家角→星巴克→外灘→ナイトクルーズ



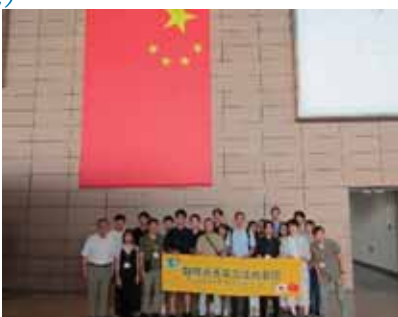


## DAY 6

### 14 到着式（富士山静岡空港）



富士山静岡空港内で行われた到着式。静岡県側台風の影響により、5時間の遅延となりましたが、無事、交流を終えることができました。



#### 交流参加者の声（浙江省交流事後アンケートより）

##### <中国について感じたこと>

- 都市開発や科学技術の躍進が目覚ましく、それでいてまだまだ開発の余地に溢れている。
- メディアでの中国の姿は本当に一部で、中国の人々はとても優しくおおらかで親切な人が多いと感じた。今までの自分の中国のイメージは、中国にいる度にどんどん変わっていった。
- 一般の報道では知ることができていない、成長著しい中国の現状を知ることができた。国として技術を身につける教育の機会や場所が提供されていることに感動し、IT技術を駆使した経営や開発が進んでいることに驚いた。
- 経済面では、上海や杭州の中心部では規模感や技術革新の違いに圧倒された一方で、農村部では路上や街並みの様子から中心部との差を感じた。
- 中国の教育水準の高さに驚いた。日本の子供たちのゆとりとは何なのか、余暇に対する考え方がいるのかなど改めて考えてみた。日本が中国から学ぶことがたくさんあるように感じた。また、学力だけではなく、人格形成の部分でも興味を持った。

##### <交流で得られたこと>

- 人がつながることの意義を強く感じた。他者の考え方を余さず吸収し自分の考え方を常にアップデートし続けることで新たな発想が生まれたり思考を制限されない環境ができたと思う。それが中国における技術発展に寄与しているのではないかと考えた。また、人生で尊敬できる先輩と最高の友人を得ることができた。
- 現地青年との交流を通して、国籍や年齢に関係なく共通の土台があれば良好な関係を築くことができると再認識した。
- 個人で海外旅行へ行っても得られる価値観とは違う、新しい視点を手に入れることができたと思う。ただ世の中が発展しているというだけでなく、実際にどのように発展しているのか、企業や学校の視察を通して実状を知ることができた。日本との相違を肌で感じることもできたと思う。
- 日中共に多くの業種のような人物と交流することができ、多様な知見に触れることができた。

## IV 静岡県交流

“しずおか”のおもてなし



### 目的

静岡県内の各分野の青年代表が、8月の浙江省交流で得られた相互理解と信頼関係をさらに深め、県内の魅力を中国青年に伝えることにより、両県の人的交流や経済、産業、文化、教育等の諸分野における交流の活性化に寄与する。

※静岡県交流では、訪日した浙江省青年の様子を報告しています。

### DAY 1

#### 1 ふじのくに茶の都ミュージアム 見学

お茶の産業・歴史・文化を紹介する展示のほか、茶道体験など楽しくお茶について学べる博物館です。この日は天気に恵まれ、牧之原大茶園展望テラスや富士山展望ホールからの眺望を楽しみました。お茶をルーツに中国と関連した展示物が多数展示されているため、大変興味深く見学していました。



#### 2 静岡ホビースクエア 見学



静岡市が「ホビーのまち」と謳う理由について、江戸時代から遡りその歴史や代表企業の誕生について学びました。中国でもプラモデルは人気があり、展示されたプラモデル一つ一つに釘付けになっていました。



### DAY 2

#### 3 静岡市内観光/静岡県青年とのペアワーク

静岡県青年と浙江省青年とのペアワークを行いました。観光をともにすることで、お互いの心の距離が縮まり、良い関係を築くことができました。また、静岡県青年にとって、静岡県のことを再度見つめなおす機会にもなりました。





## 日程表

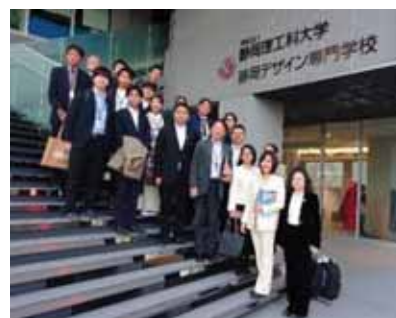
月日		時間	行程	宿泊
DAY 1	12/1 (日)	12:40 13:30 16:45	富士山静岡空港 到着 ふじのくに茶の都ミュージアム 見学 静岡ホビースクエア 見学	ホテルアソシア静岡
DAY 2	12/2 (月)	午前	静岡市内観光 ※ 日本平夢テラス、久能山東照宮、三保の松原	
		午後	静岡デザイン専門学校 視察 ※ 青年意見交換会 (ホテルアソシアにて) ※ 歓迎レセプション	
DAY 3	12/3 (火)	午前	玉露の里 見学 (お茶体験) 藤枝市立朝比奈第一小学校 視察・交流	
		午後	ヤマハ発動機コミュニケーションプラザ 視察 静岡県立農林環境専門職大学 視察・交流	
DAY 4	12/4 (水)	午前	静岡県庁 訪問 静岡市立安東こども園 視察・交流	
		午後	静岡県地震防災センター 視察 新幹線移動 静岡県→東京都	

※の部分は、静岡県青年団交流



## 4 静岡デザイン専門学校 視察・交流

大場校長はじめ複数の職員に対応いただき、学校概要や新キャンパス・施設について大変わかりやすく説明、案内いただきました。



## 5 青年意見交換会

意見交換会では、グループごとに8月の浙江省交流で感じたことや疑問に思ったこと、お互いの国の現状について話し合いました。最後には、グループの代表者が話し合いの内容を発表しました。



## 6 歓迎レセプション（浙江青年友好代表团）

浙江省青年をお迎えして行われた歓迎レセプション。増井副知事をはじめ、既参加者や事務局などこれまで事業に関わっていただいた方々に参加いただき、両県省の友好をさらに深めることができました。



## DAY 3

## 7 玉露の里（お茶体験）

瓢月亭茶室にて、お点前を披露いただき、お茶体験をしました。紅葉が始まり、大変風情のある素晴らしい日本庭園を望むことができました。



## 8 藤枝市立朝比奈第一小学校 視察・交流



玉露の里すぐそばにある小学校です。静岡県青年の1人である古杉教諭の担当する5・6年生との交流授業では、だるまさんがころんだやけん玉、給食も共にし、大変印象深い交流となりました。



## 9 ヤマハ発動機コミュニケーションプラザ 視察

シアターにて、ヤマハ発動機の歴史と変遷について中国語での歴史映像を視聴した後、館内を見学しました。多くの製品や技術が展示され、シミュレーターや体験型の展示物も多数あるため、大変楽しむことができました。





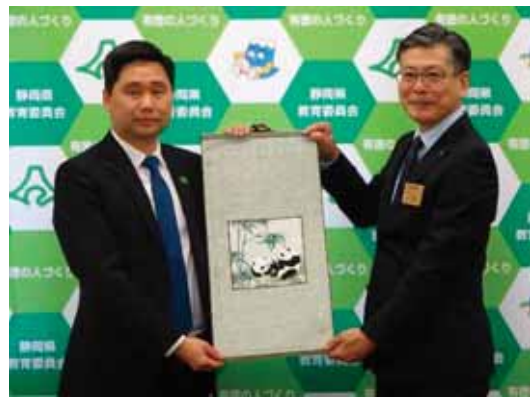
## 10 静岡県立農林環境専門職大学 視察・交流

職員による大学概要説明と意見交換を行った後、農場見学を行いました。互いの国の農業事情や課題、教育について大変熱い意見交換が行われ、充実した交流となりました。農場では、お茶畑や温州みかんの畑があり、ここでも静岡と浙江省のつながりを実感することができました。



## DAY 4 11 県庁訪問

教育長室では、池上教育長と塩崎教育監に対応いただき、今回の静岡県交流の感想や次回以降の交流について意見交換を行いました。別館 21 階展望ロビーでは、富士山をはじめ静岡市内を 360 度見渡すことのできる景観に大変喜んでいる様子でした。



## 12 静岡市立安東こども園 視察・交流

静岡市こども園課担当者と高須園長からこども園について概要説明をいただき、その後、園内を見学しました。



## 13 静岡県地震防災センター 視察

地震防災における現状と対策について学びました。津波の起こる実験装置にも積極的に触れ、興味を持って学ぶ姿が見られました。



### 交流参加者の声 ( 静岡県交流事後アンケートより )

- 天気にも恵まれ、静岡の魅力を存分に感じていただけた一日になったと思う。私自身も静岡の魅力を再認識する機会となった。青年の皆様と会話する中で、日本に興味を持ってくださっていることや、中国で日本のエンタメや文化が親しまれていることを知ることができ、文化交流の大切さを実感した。逆に日本で中国の文化があまり知られていないような印象も持ったので、私たちが今回経験したことをきっかけに発信していきたいと思った。
- 意見交換会がとても有意義だった。中国の教育観を知ることができ、中国でも子どもを主体的に考えて、子ども自身の幸せが優先されるように変わってきているという話だった。
- この事業の深みを改めて知り、出会えた中国の方や日本メンバーとは長く交流を続けたいと思った。
- 中国の青年の皆さんと意見交換をすることができ、両国の青年が気になることを共有することができた。また、両国の教育問題の現状についても確認することができた。交流をしていく上で重要な一歩であったと感じている。

# V 広がる交流の輪

## 1 既参加者の事後活動状況

※既参加者を対象に実施した「現況調査」より（令和6年度実施）

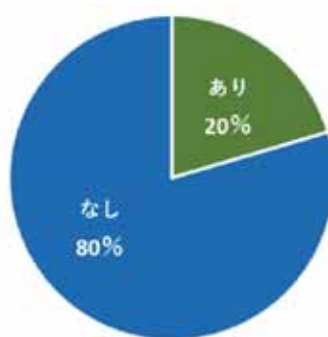
### ① 日中交流架け橋プランの取組



主な取組事例

- ・中国での体験を学校の授業で紹介
- ・当事業の実行委員として活動
- ・ホストファミリーとして活動
- ・中国語の勉強 など

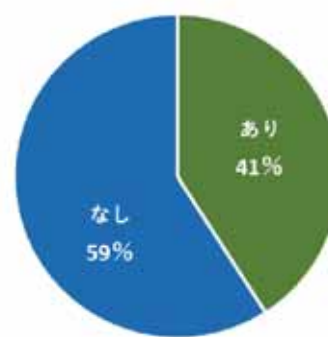
### ② 浙江省青年との交流



主な取組事例

- ・中国に渡航し、パートナーと再会
- ・WeChatを通じて交流 など

### ③ 参加者同士の交流



主な取組事例

- ・SNSやメール等で情報共有・交流
- ・近況報告を兼ねた食事会や同期会
- ・友人として一緒に余暇を過ごす など

### ④ 交流が自身に与えた影響

- ・姉妹都市からみえる学生さんのホストファミリーになったり、交流のスタッフとして手伝いをしている。
- ・中国の文化や生活習慣、ビジネスについて調べている。中国や台湾へ訪中する回数が増えた。
- ・中国含め外国拠点への異動希望を出した。
- ・より世界を知りたくなった。その結果、青年海外協力隊に行った。現在、子供たちに少しでも世界を身近に感じてもらえるように授業で映像を見せるなどしている。
- ・中国の方だけでなく、日本人同士でのつながりも広めていけたらという思いから、この事業の役員として参加させていただいている。世界的なニュースや政治にも関心を持つようになった。
- ・海外（特に中国）で起こったニュースに対し、他人事として突き放すのではなく、自分に置き換えて（あるいは現地の人々の立場を想像して）把握するようになった。 など

## 2 既参加者の事後活動報告

### 異文化から受ける刺激

亀山 圭孝さん（ 鈴与株式会社／平成25年度参加 ）

平成25年当時、世界がリーマンショックから立ち直っていく中で、中国が世界経済をリードし非常に勢いを持っていた時代だと記憶しています。私が最も印象的だったのは、ホームステイ先の家族と回ったショッピングセンターの本屋さんでの出来事です。親が仕事に出ている間、多くの子供たちが本屋で教科書や本を必死でノートに書き写して勉強し、時間を過ごしていました。そのようなハングリーな姿を見て、彼らの活躍に負けない活動を日本でも行っていかないと日本は世界からおいてかれてしまうという危機感を感じたのを覚えています。

その他にも中国では、スケールの大きさや考え方の違いなど様々な刺激をもらえました。それらの刺激を自分のエネルギーに変え、その後の自分の成長に活かすことができたと感じています。

また、県内の多くの企業、団体の方と同じ目線で交流ができる貴重な機会となりました。コロナ禍明けに同窓会も行い、この交流を今後も繋げていければうれしく思っています。





## 杭州から日本へ：友情の物語と次世代へのメッセージ

堀 志緒美さん（ 静岡県立清水南高等学校／平成 28 年度参加 ）

日中青年代表交流は本当に貴重な経験でした。特に「パートナー」と呼ばれる同年代の現地青年とペアになり、文化や価値観について語り合ったことは他では経験できないものでした。プログラム後も2度杭州を訪れ、西湖や地元の家庭料理などを通じて杭州の魅力を堪能しました。現在パートナーには家族が増え、その家族が来春、日本を訪れる予定です。



私は教員として働いており、交流事業参加後は、外国との直接交流の魅力を次世代へ伝えることが自分の使命だと感じていました。昨年、生徒たちと台湾へ研修旅行に行き、日中交流で歌った「朋友」という曲を生徒と現地生徒が共に歌う活動を実現しました。生徒たちは国を越えた友情や交流の大切さを実感したようです。メディアを通じて外国に対して偏った印象を抱いている人が未だに多くいます。実際に現地で直接交流し、異なる文化や価値観、相手の思いへの理解や共感を深める人たちがもっと増えますように。そして次世代がより深い真のつながりを築けますように。微力ですが、過年度参加者として私は今後もこの事業に協力していきます。

### 「仲間とともに日中交流を続けていく」

伊藤 清久さん（ 静岡県立富岳館高等学校／令和元年度参加 ）

以下は私の参加時の報告書の記述である。

【私の「日中交流架け橋プラン」】(抜粋)

- 1 今後も本交流に積極的に関わっていく。
- 2 本交流での仲間たちとの交流を深める。
- 3 中国人パートナーと連絡を取り合う。
- 4 杭州、上海を再訪する。



【今年度の参加者と一緒に】

交流後、コロナ禍となり、海外渡航不可であったが、左記すべてを実行できた。今回、5年ぶりに浙江省交流が再開し、実行委員として同行した。5年ぶりの浙江省交流では、新たな参加者との交流もでき、また中国人パートナーとも再会し、旧交を深められた。

この5年間、事務局の方々がリモートや国内でのセミナー等を開催し、交流の絆を継続することができた。今回、杭州及び上海を再訪し、「自己表現するスキルと感性を磨き、積極的に行動していく」という私の中のニーズを再認識できた。今後も本交流事業を通じて、日中の架け橋となる青年のサポートができるよう、仲間とともに尽力していきたい。

### 3年間の相互訪問中断を経て

伏見 智子さん（ 清和海運株式会社／令和5年度参加 ）

私が本事業に参加した令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受け、静岡県と浙江省の相互訪問が3年間中断したその翌年でした。本格的な交流の再開は依然難しかったものの、日本から中国側事務局を表敬訪問する運びとなり、3泊4日の日程で浙江省杭州市を訪問しました。

現地では、事務局訪問だけでなく、地元の公立高校や一般企業などいくつかの施設見学もさせていただきました。訪問の2か月前に杭州市でスポーツのアジア大会が開催されたばかりで、真新しく豪華なスタジアムや体育館が建ち並んでいるのが印象的でした。一方で、早朝に西湖（市内にある世界遺産の湖）のほとりで、市民が思い思いに朝活（太極拳や習字の練習など）をしている光景は、のどかでなんとなく懐かしさを覚えました。短い日程でしたが、杭州市の新古を垣間見ることができた気がします。もう少し中国のこと浙江省のことを知りたいなと名残惜しくなる3泊4日でした。



## VI 日中交流架け橋プラン

— 終わりではなく、始まり —

高林 洋之	生徒および同僚に実際の中国の様子を伝え続け、身近に感じてもらう。
赤堀 真也	中小企業・小規模事業者に対し本交流の経験から得た発見や学びを伝える。
田代 晃司	<ul style="list-style-type: none"><li>・日本と中国に架け橋をつくれる有徳な人になる。</li><li>・学校教育、社会、日中の交流に貢献できる才徳兼備の人になる。</li></ul>
徳永 凌	<ul style="list-style-type: none"><li>・現地で目にした先進的な物流技術のアイデアを取り込む。</li><li>・中国語学の更なる向上を行い、中国へ再訪する。</li></ul>
児玉 文美	「行動をしてみてわかることがある」「人と人が実際にふれあっていく中で得ることがある」ことを自分の体験とともに生徒へ伝える。
松浦 恵太	<ul style="list-style-type: none"><li>・自身が見聞してきた中国の良さや現状を生徒に発信していく。</li><li>・生徒と中国の方が交流できる機会を設定し、友好のためのきっかけ作りをする。</li><li>・中国の歴史・文化を学んだ上で、もう一度中国を訪問する。</li></ul>
高田 愛	<ul style="list-style-type: none"><li>・2030年までに再び中国を訪問する。</li><li>・中国語学習を再開し、中国の方との円滑なコミュニケーションを図る。</li><li>・中国の方や、中国に興味がある方とのコミュニティを作る。</li></ul>
生駒 泰斗	「伝える」ことを意識し30才までに日常会話を対話できるようにする。
水野 彰紀	「平和で安全な未来を子どもたちに」をスローガンに子育て世代の国内外の大人たちで子どもに残したい世界について語り合う。そのために交流した人たちとの関係を継続する。
村宮 汐莉	本事業の学生参加者数を増やす。教育関係者として、学校、行政、地域など多方面から社会的・文化的に人と関われる機会を提供できるようになる。
古杉 香	<ul style="list-style-type: none"><li>・国際感覚をもち、児童の人権感覚の育成にいかす。</li><li>・教科横断的な学習の中で本交流での学びを活用したり関連づけたりして、授業力を高める。</li></ul>
牧野 志穂	<ul style="list-style-type: none"><li>・あらゆる面で長期的に中国との密接な関わりがもてるよう、中国の知識、中国語の学習を継続する。</li><li>・交流による国際的相互理解促進の一助となれるよう自己研鑽に励む。</li></ul>
細川 卓馬	<ul style="list-style-type: none"><li>・1年以内に中国や中国文化の勉強を始め、中国文化のイベントに参加する。</li><li>・自身が中国に訪れて感じたことを発信していく。</li></ul>
小川 詩恩	自分の担当する公民科の授業の中で中国の実際の写真・映像を取り入れた授業を展開していく。
稲熊 健人	<ul style="list-style-type: none"><li>・「伝える」ことをしていく。自分自身で感じた生の中国について発信していく。</li><li>・交流で出会った人たちとの関係を継続する。</li></ul>



嘉興市月河歴史街



# 日中青年代表交流

令和7年3月

編集発行 / 日中青年代表交流実行委員会  
静岡県教育委員会社会教育課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電話 054 - 221 - 3305・3312

E-mail [kyoui\\_shakyo@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:kyoui_shakyo@pref.shizuoka.lg.jp)

表紙デザイン / 児玉 文美 (令和6年度参加者)



